令和６年度　年間授業計画

第４学年

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 国語　科目 国語表現　年間授業計画

教　　科　：　国語　　科目：国語表現　　単位数：　　２単位

対象学年組　：　第４学年　１組

教科担当者名：　（　　）

使用教科書　：　（高等学校改訂版国語表現（第一学習社）　）

使用教材　　：　（作成プリント　　）

学期	指導内容	教科国語の具体的な指導目標	予定時数
１学期	高校生活を振り返って 漢字学習	教育漢字を正しく使い、与えられた題の小論文を的確に書けるようにする。	２４
２学期	社会に出たらやりたいこと。 漢字学習	小論文を書くことを通じて、自己の進路について考える。	１６
	抽象的な題名の小論文 漢字学習	抽象的な題名の小論文を書くことを通じて、論理的思考力をみにつける。	１２ 合計 ５２
３学期	高校生活を通じて身につけた国語力の確認。	実力テストを解くことを通じて、自分が高校生活を通じて身につけた国語力を具体的に確認する。	１８ 合計 ７０

評価の観点・方法　：

毎時の授業に積極的に取り組み、文章を的確に理解でき、自分の考えを具体的に表現できたかで評価する。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 公民　科目 政治・経済　年間授業計画

教　　科　：公民　　科目：政治・経済　単位数：2 単位
対象学年組　：　第 4 学年 1 組
教科担当者名：　（　　）
使用教科書　：　（高等学校　新政治・経済　新訂版（清水書院））
使用教材　　：　（自作プリント）

学期	指導内容	教科公民の具体的な指導目標	予定時数
1学期	現代の政治 〇民主政治の基本原理 〇日本の政治機構 〇現代日本の政治	〇民主政治の基本原理を学び、国民の政治参加について理解させる。 〇国会、内閣、裁判所の役割と三権分立について概略を理解させる。 〇日本の選挙制度と選挙における課題を理解させる。	２４
2学期	現代の経済 〇価格と市場の役割 〇株式会社の仕組み 〇財政の役割と課題 〇貨幣の役割と金融	〇市場経済における価格の変化を市場の原理から理解させる。 〇株式会社の仕組みと企業の社会的責任について理解させる。 〇政府が行う経済活動の機能をとらえ、歳入と歳出のバランスから財政の課題を理解させる。 〇市場経済で貨幣が担う役割と金融の仕組みを理解させる。	２８ 合計 ５２
3学期	現代の経済 〇労働者の権利 〇社会保障制度のあゆみ	〇市場経済における労働者の立場を確認し、労働者の権利について理解させる。 〇社会保障が誕生した背景と日本の社会保障の四つの柱について理解させる。	１８ 合計 ７０

評価の観点・方法　：

関心・意欲・態度　政治経済の事象に関心を持ち、主体的に授業に参加しようとする。

技能・表現　　政治経済の重要な出来事について資料から読み取ることができる。

思考・判断　　現代社会で起こっている課題について考察することができる。

知識・理解　　基本的な政治経済の用語を理解し、一問一答の問題に解答できる。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 数学 科目 数学Ａ 年間授業計画

教　　科　：　数学　　科目：数学Ａ　　単位数：　　２単位
対象学年組　：　第４学年　１組
教科担当者名：　（　　）
使用教科書　：　（　東京書籍　改定　新数学Ａ　　）
使用教材　　：　（　なし　　）

学期	指導内容	教科〇〇の具体的な指導目標	予定時数
１学期	２章　図形の性質 １節　三角形の性質　重心・内心・外心 ２節　円の性質　円周角の定理、円に内接する四角形の性質、円と直線の関係、方べきの定理	・三角形の重心・外心・内心の求め方が理解できているか、それらの性質が理解できているか。 ・円周角の定理、方べきの定理が理解でき、それらを利用し各問題が解けるか。	10 15 合計 25
２学期	３章　整数の性質 １節　約数と倍数　最大公約数、最小公倍数、ユークリッドの互除法 ２節　２進法 １章　場合の数と確率 １節　集合、集合の要素の数、和の法則と積の法則、順列、順列の利用、重複順列、円順列、	・最大公約数、最小公倍数が求められるか、ユークリッドの互除法を理解し、自身で求められるか。 ・２進法で表された数字を１０進法で表すことができるか。１０進法で表された数字を２進法で表すことができるか。 ・集合の概念、包含関係が理解でき問題が解ける。 ・順列について理解でき、文章において式を立て計算することができる。	10 15 合計 25
３学期	１章　場合の数と確率 １節　組合せ、組合せの利用、道順 ２節　確率の意味、確率の計算、独立な試行の確率	・順列、組合せについて理解でき、文章問題においてどちらで求めるのか判断でき、問題が解ける。 ・確率について理解でき、文章問題から式を立てることができる。	20 合計 70

評価の観点・方法
関心・意欲・態度：数学的な考え方に関心を持ち、事象の考察に活用しようとする。
技能・表現：数学的な見方や考え方を身に付け、多面的・発展的に考える。
思考・判断：数学的に考察し、表現や処理をする方法を学び、問題を解決する。
知識・理解：基礎的な知識とともに計算力を身に付ける。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 保健体育　科目 体育　年間授業計画

教　　科　：　保健体育　　科目：体育　　単位数：　　２単位
対象学年組　：　第４学年　１組
教科担当者名：　（　　、　　）
使用教科書　：　（最新高等保健体育　改訂版　　）
使用教材　　：　（なし　　）

学期	指導内容	教科体育の具体的な指導目標	予定時数
１学期	・オリエンテーション ・体力測定 ・体つくり運動 ・バスケットボール ・バドミントン ・卓球	・体の調子を整え、体力の向上を図るために授業開始後１０分間程度柔軟体操、体幹トレーニングを行う。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能と仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする（球技種目）。	２４
２学期	・サッカー ・バスケットボール ・長距離走 ・卓球	・サッカーやバスケットボールでは、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開できるようにする。 ・長距離走では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	２８ 合計 ５２
３学期	・長距離走 ・体育理論 ・選択種目 バレーボール バドミントン 卓球など	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを深く味わい、ペースの変化に対応して走ることができるようにする。 ・バレーボールやバドミントン、卓球などでは、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようにする。	１８ 合計 ７０

評価の観点・方法　：
・関心・意欲・態度：自ら進んで運動を実施し、運動の楽しさや喜びを体得しようとする。
・技能：競技に必要な技能や体力を高めるための運動の行い方を身につけている。
・思考・判断・表現：課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。
・知識・理解：運動の特性や運動の意義を理解し、知識を身につけている。
・上記の観点を総合的に判断して評価を行う。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 外国語　科目 英会話　年間授業計画

教　　科　：　外国語　　科目：英会話
対象学年組　：　第４学年　１組
教科担当者名：　（　　、　　）
使用教科書　：　(Sailing English Conversation　　)
使用教材　　：　(なし　　)

学期	指導内容	教科体育の具体的な指導目標	予定時数
１学期	Warm-Up１English Around the World Warm-Up２People Around Us Lesson1 What Day Is Convenient for You?	●教科書本文の音読が正しく出来る ●教科書本文の単語・熟語を理解し聞き取り、発話することができる	24
２学期	Lesson2 How Was Last Sunday? Lesson3 Could I Have an Extra Blanket? Lesson4 Who’s Calling, Please?	●リスニング・スピーキング活動を行う。 ●プレゼンテーション形式で行う。 ●教科書本文の音読が正しく出来る	28 合計 52
３学期	Lesson5 How Can I Get There? Lesson6 May I Help You? Lesson8 I’m Not Feeling Well.	●教科書本文の単語・熟語を理解できる ●ペアワークを行う。 ●人前で英語を発話できるようにする。	18 合計 70

評価の観点・方法

関心・意欲・態度　指名回答に応じようとすることができる。自発回答ができる。
技能・表現　単語レベルでも発話を行うことができる。
思考・判断　英語での言い回し・表現を正確にとらえることができる。
知識・理解　教科書内容の単語・熟語を覚え、意思を伝えることができる。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 産業　科目 産業実習　年間授業計画

教　　科　：産業　　科目：産業実習　　単位数：　　３単位
対象学年組　：　第４学年　１組
教科担当者名：　（　　、　　、　　）
使用教科書　：　（使用教科書なし　　）
使用教材　　：　（針金、タコ糸、ボンド、和紙、塗料、作業工具など　）

学期	指導内容	産業実習の具体的な指導目標	予定時数
１学期	卒業制作として全員でねぶた製作を行う。 ・災害時に誘導灯として使うことを念頭に置き、灯篭型のねぶたを製作させ、基本作業を理解させる。 ・班編成し、ねぶたを製作させる。 ・デザインを考案する。 ・校内を移動できるようにサイズを決める。 ・全体の形状を考案する。 ・デザインに合わせ土台を作る。 ・灯篭のデザインを考案する。 ※避難場所として認識しやすいデザインを施す。 ・灯篭内の照明を配線する。 ・ねぶた部分の骨格にする柱と紙を貼る針金を組んでいく。 ・針金はボンドを塗ったタコ糸を巻き付け固定する。 ・針金に和紙を張る。 ・着色する際に色がにじまないように、境に溶かしたロウを塗る。 ・着色し完成させる。 ・実習内容をプレゼンテーション・ ビデオにまとめる。 ・プレゼンテーションの準備 ・プレゼンテーションの実施 ※進度によりオーブン製作を試みる。	全員で卒業制作に取り組ませる。 ・道具の準備や正しい扱い方の習得。 ・避難経路を表示する灯篭に必要な外観を考えさせる。 ・安心感を与える外観を目指す ・校内の通琉を測定しスムーズな移動を目指す。 ・素材にあわせた加工技術の習得。 ・平面から立体へ起こす技術の習得。 ・立体造形の感覚の習得。 ・丁寧な作業の習得。 ・電気・電子回路の基礎を学び、製作に活用する。 ・ビデオ編集ソフトの使い方を学習し活用する。 ・プレゼンテーションソフトの使い方を学習し活用する。	３６
２学期			４２ 合計 ７８
３学期			２７ 合計 105

評価の観点・方法　：
関心・意欲：態度：授業を受ける姿勢、用具の準備など前向きに取り組めたか。
技能・表現：技能の習得においては見本に従い丁寧な作業が行えたか。
思考・判断：自分で創意工夫し、完成度を高める努力をしたか。
知識・理解：条件の範囲内で課題を完成できたか。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 産業　科目 ソフトウェア　年間授業計画

教　　科　：　産業　　科目：ソフトウェア　単位数：２単位

対象学年組　：　第４学年　１組
教科担当者名：　（　　）
使用教科書　：　（なし　　）
使用教材　　：　（必要に応じて補助教材・プリントを各班で使用予定　）

学期	指導内容	教科産業の具体的な指導目標	予定時数
１学期	資格検定試験の合格に必要な知識・技術を習得させる。 各検定約１８時間程度学習 【受験予定検定試験】 ・文書デザイン ・プレゼンテーション作成 ・表計算	各検定試験の ・基本操作を理解させる。 ・正確な作業を身に付ける。 ・制限時間内で解答できるよう練習させる。	２４
２学期			２８ 合計 ５２
３学期	各テーマを学習する 各テーマ約６時間程度学習 ものつくりに関連するソフトウェア技術について理解を深める	各班で設定する	１８ 合計 ７０

評価の観点・方法　：
出席状況・授業態度・各検定の目標達成率の３つの観点について総合的に評価する。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 産業　科目 材料技術　年間授業計画

教　　科　：産業　　科目：材料技術　　単位数：　　２単位
対象学年組　：　第４学年　１組
教科担当者名：　（　　）
使用教科書　：　（　使用教科書なし　　）
使用教材　　：　（　ＩＣＴ機器、自作プリント　　）

学期	指導内容	教科：材料技術の具体的な指導目標	予定時数
１学期	・工業材料と社会生活の関連を学ぶ ①身の回りの材料など ・工業材料の分類と性質 ②工業材料の構成物質 金属材料について ①金属材料の種類と性質 ②金属材料の製造 ③金属材料の加工	・工業材料の種類・性質を理解する。 ・代表的な材料の利用例を理解する。 ・鋼、鋳鉄及び基本的な鉄合金の性質を理解する。 ・金属材料の加工方法を理解する。	２４
２学期	①　非鉄金属について ②　代表的な工業製品である自動車部品の材料や製造工程・加工法を学ぶ ③　金属外の材料について ・金属外の材料の種類と性質 ②新しい材料について	・工業製品全般の基礎知識を学ぶ。 ・金属外の材料の分類を理解する。 ・工業分野の最新知識を理解する。	２８ 合計 ５２
３学期	①真鍮の加工を通して金属の性質を理解する。	真鍮の加工硬化と加熱冷却処理による軟化を体験し理解する。 部品取り（正確な寸法）、切断、銀ロウによる接合、磨きまでを安全に行う。	１８ 合計 ７０

評価の観点・方法　：
　出席状況、授業態度、提出物、定期考査などを通して総合的に判断する。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 産業　科目 情報演習　年間授業計画

教　　科　：産業　　科目：情報演習　　単位数：　　３単位
対象学年組　：　第４学年　１組
教科担当者名：　（　　）
使用教科書　：　（　使用教科書なし　　）
使用教材　　：　（　ＩＣＴ機器、自作プリント　　）

学期	指導内容	教科産業の具体的な指導目標	予定時数
１学期	（１）プレゼンテーション ①プレゼンテーションの基礎 ②プレゼンテーションの実践	プレゼンテーション活動の目的や方法について理解させ、プレゼンテーション・ソフトウェアを活用した実習を通して、発表用の資料の整理や作成などの準備から発表までのプレゼンテーション技法を習得させる。 （プレゼンテーション作品の制作）	１８ １８
	（２）ビジネスと表計算ソフトウェア ①表計算ソフトウェアの役割 ②表計算ソフトウェアの基本操作	表計算ソフトウェアの活用により情報の集計処理の簡潔化、明瞭化などの効果が期待できることについて理解させる。 (定期考査)	
２学期	（３）表計算ソフトウェアの関数の活用・基礎	表計算ソフトウェアの主な関数の種類や特徴について理解させるとともに、関数を活用するための技法を習得させる	２４ ２４
	（４）表計算ソフトウェアの関数の活用・応用	データベース関数の意義や役割について理解させる。ビジネス諸活動において、情報を加工・活用する必要性について理解させる。 (定期考査)	合計 ８４
３学期	（５）アルゴリズムとプログラミング ① Micro：bitの活用 ② Pythonによるプログラミング	Micro：bitの操作によりアリゴリズムについて理解させ、更にPythonによるプログラミングを習得させる。 （卒業考査）	２１ 合計 105

評価の観点・方法

関心・意欲・態度	日常の授業への参加態度・取り組み姿勢を総合的に評価する。
技能・表現	課題提出の状況等を総合的に評価する。
思考・判断	学習活動における思考や判断の状況を総合的に評価する。
知識・理解	定期考査・演習の態度や状況等を総合的に評価する。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 産業　科目 ビジネス経営　年間授業計画

教　　科　：産業　　科目：ビジネス（ビジネス選択）「ビジネス経営」　単位数：　　２単位
対象学年組　：　第４学年　１組
教科担当者名：　（　　）
使用教科書　：　（　使用教科書なし　　）
使用教材　　：　（　自作プリント　　）
目　標：商品売買業における簿記の記帳に関する基本的な知識と技能を習得させ、簿記の必要性について理解するとともに、帳簿や財務諸表を通して，ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てる。また、興味関心の程度にあわせて、検定試験等の資格取得にも対応できるようにする。

学期	授業内容		指導の重点・留意点	予定時数
１学期	決　算 ５伝票制	費用の繰り延べ・見越し 収益の繰り延べ・見越し 貸倒れの見積り（洗替法） 有価証券の評価 減価償却（間接法） 仕入伝票・売上伝票 伝票の集計	簿記の基本について、プリント等で記帳演習を行いながら指導する。また、原価計算についても行う。	１３
	特殊取引の記帳 特殊仕訳帳	割賦販売・委託販売・未着商品 現金出納帳・当座預金出納帳 売上帳・仕入帳	特殊取引・特殊仕訳帳について、そのしくみを十分理解させる。 （定期考査１）	１３
２学期	本支店会計 株式会社の記帳	本店集中計算制度 本支店合併の貸借対照表・損益計算書 株式会社の資本金 繰延資産の記帳 剰余金の処分と損失の処理 社債の取引	支店会計の独立の意味を理解させ、取引の記帳方法を理解させる。 株式会社の取引と記帳方法について、個人企業との違いにふれながら、知識と技能について習熟する。 （定期考査２）	２６
３学期	株式会社の記帳	株式会社の税金 固定資産の売却 償却債権取立益 検定問題演習	株式会社の取引と記帳方法について、個人企業との違いにふれながら、知識と技能について習熟する。 （定期考査３）	１８
				７０

評価の観点

関心・意欲・態度	日常の授業への参加態度・取り組み姿勢を総合的に評価する。
技能・表現	課題提出等の状況を総合的に評価する。
思考・判断	学習活動における思考や判断の状況を総合的に評価する。
知識・理解	定期考査・演習の態度や状況を総合的に評価する。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 産業　科目 ビジネス演習Ａ　年間授業計画

教　　科　：産業　　科目：ビジネス演習Ａ　単位数：　　２単位
対象学年組　：　第４学年　１組
教科担当者名：　（　　）
使用教科書　：　（　ビジネス基礎　　実教出版　）
使用教材　　：　（　自作プリント　　）

学期	授業内容	指導の重点及び留意点	予定時数
1学期	・ビジネスと担い手 ① 売買取引 ② 流通 ③ ビジネスの担い手	・経済のしくみを理解させ経済活動におけるビジネス活動の重要さを知る。 ・生産と消費の橋渡しを行う重要な経済活動である流通について、日々行っている経済活動と照らし合わせながら理解を深めさせる。 ・ものの生産者とサービスの生産者について考え理解させる。	24
2学期	・ビジネスと売買取引 ① 売買に関する計算 ② 契約上の法的根拠	・取引における重要な原価の計算や販売価格等について正確に計算させる。また、様々な外貨について学びその計算においても正確に計算できるようにさせる。 ・契約には法令の関与があるので、それらの法令を知り重要性においても理解させる。	28
3学期	・ビジネスコミュニケーション ①心構え ②情報入手と利用	・自国の文化・習慣について学ぶとともに異文化の理解として外国人とのコミュニケーションの心構えを習熟させる。 ・ことば以外の感情表現や動作 ・情報を日々入手するうえで使う媒体の特徴をおさせ、その利用に関する注意点について理解させる。	18 70

評価の観点

関心・意欲・態度　日常の授業への参加態度・発言等を総合的に評価する。25%
技能・表現　　課題提出やその内容等について総合的に評価する。25%
思考・判断　　学習活動における思考や判断の状況を総合的に評価する。25%
知識・理解　　定期考査等を総合的に評価する。25%